

1. 題材名「9 がん患者への理解と共生」(高等学校・特別活動)

2. 題材について

(1) 題材設定の理由

本題材は、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成に関わる内容である。日本人の2人に1人ががんになるわが国の状況において、がん患者への理解を深め、共に生きることの大切さに気付くことが重要であると考え。

また、近い将来、社会に出ていく生徒たちにとって、がん患者が働きやすい社会にするために自分の行動を自己選択・自己決定できる力をつけることが大切であると考え本題材を設定した。

(2) 報告書の内容の位置づけ

ケ がん患者への理解と共生

がん患者は増加しているが、生存率も高まり、治る人、社会に復帰する人、病気を抱えながらも自分らしく生きる人が増えてきている。そのような人たちが、社会生活を行っていく中で、がん患者への偏見をなくし、お互いに支え合い、共に暮らしていくことが大切である。

3. 指導のねらい

- ・がんの治療をしながら、日常生活を送る人が増えている。そのようながん患者が、働きやすい社会になるためには、がん患者への理解を深め、共に支え合うことが大切である。このことについて理解できるようにする。
- ・資料をもとに自分の生き方と関連づけて考え、がん患者が働きやすい社会の実現に向けた自分の行動を自己選択・自己決定できるようにする。

4. 展開例

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点(◆評価) |
|-----------|--|---|
| 導入 10分 | <p>1. 働きながらかんの治療をする際にどのような苦労があるか予想する。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事をやめれば生活が苦しくなる。 ・他人事ではない。 ・これは個人の努力や身近な人の支援だけでは解決できない問題だ。 | <p>○最近身近な人を亡くした生徒がいる場合、様子を観察するなど、十分配慮したい。</p> <p>○日本人の2人に1人ががんになるわが国の状況等、基礎的な学習内容について振り返る。</p> <p>○がんにかかると、治療のために仕事を休まなければならない、あるいはやめざるを得ない場合があることに気付かせる。</p> |
| | <p>目標：がん患者を支える社会を築いていくためには、どうしたらよいか考えよう。</p> | |
| 展開 30分 | <p>2. がん患者が働きながらかん治療する際の課題についてグループで話し合う。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんになると長く入院しながら治療をすると思っていたが現実とは違う。 ・でも、治療をしながら働き続けるのは大変そう。 | <p>○わが国では、がん治療は入院というより、通院が主体になりつつあるため、がんの治療をしながら、以前と同じような生活を送る人が増えていることを説明する。</p> <p>○がんの治療方法(手術療法・放射線療法・科学療法)について学習したことを振り返る。</p> <p>資料P10 参照</p> |

| | | |
|--------------------|--|---|
| <p>展開 30分</p> | <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・68.3%のがん患者が、仕事とがん治療を両立させるために勤務先から支援を受けることができていて、予想よりも高い。 ・でも残りの31.7%の人は支援を受けることができなかった。これは問題だと思う。 ・実際「がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思う」と答えた人の割合は28.9%しかない。 ・これでは働き続けることはできない。 ・がん患者への理解を深め、暮らしやすい社会にしていける必要がある。 <p>3. 事例を読んで思ったことを発表する。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堂々と話したこの女性はすごいと思う。 ・だれでもこの女性のように話せるわけではないから、周囲が支えてあげる必要がある。 | <p>○資料P14(3)から読み取れる課題をグループで話し合うよう指示する。</p> <p>○100%の人が仕事治療を両立できるように、会社の就労支援体制を整えていく必要があることを伝える。</p> <p>○周囲の人のがんに対する理解不足が誤解を生むことに気付かせる。</p> <p>◆【知識・理解】</p> <p>がんの治療をしながら、日常生活を送る人が増えていること、また、そのような人たちが、働きやすい社会にするためには、がん患者への理解を深め、共に支え合うことが大切であることについて理解している。(記述や発言)</p> <p>○資料P16〈ある職場でのケース〉を提示し、資料を読んで思ったことを学習カードに記述するように指示する。</p> <p>○数名の生徒に発表させる。</p> <p>○抗がん剤の副作用について補足説明する。</p> |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問：がん患者が働きやすい社会を築くためにどうしたらよいかグループで考えよう。</p> </div> <p>4. がん患者が働きやすい社会を築くためにできることを考える。</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てからのことだから難しいな。 ・がんについて進んで勉強する。 ・周囲の人にも学んだことを教える。 ・「こんなことを聞いたら悪いかな」などと思わず、積極的に声をかける。 ・職場のミーティングの際、みんなで支えられるような方法を考える。 ・旅行など、がん患者の方でもできることであれば積極的に誘う。 | <p>○ブレインストーミングの仕方を説明する。</p> <p>①思いついた意見が積極的に発表されるように、意見に対して批判やコメントをしない。</p> <p>②他の人のアイディアに便乗するなど他の人の意見を活用する。</p> <p>③時間は2～3分程度とし、その間にグループ内でできるだけ多くの意見を出す。</p> <p>④出された意見は各自が持っている付箋に書いて模造紙に貼る。</p> <p>⑤書き出された意見はグループ内で集め、分類し小見出しを作るなどして整理する。</p> <p>○就職した自分をイメージして考えるようにアドバイスする。</p> |
| <p>まとめ 10分</p> | <p>5. がん患者が働きやすい社会を築くため自分に合った方法を決め、発表する。</p> <p>【自己決定】</p> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、自分自身が、がんについてもっと勉強して分かったことを家族にも伝えていきたい。 | <p>○決めたことを発表させる。</p> <p>○一人一人の自己決定を認め、称賛して今後への実践意欲を高める。</p> <p>◆【思考・判断・実践】</p> <p>がん患者が働きやすい社会を築くための自分の行動を自己選択・自己決定している。</p> <p>(学習カード・発言)</p> |